



第一礼拝次第

メッセージ：渡真利彦文牧師
映像：郭永東牧師

前奏			
頌栄	540	会衆	衆衆
主の祈り		会衆	衆衆
プレイズ	「真昼のように」 「土の器」	会衆	衆衆
聖書朗読	使徒言行録 17:23		
祈禱	(新約聖書 P248)	司会	衆衆
賛美	新生 14	会衆	衆衆
メッセージ	「アレオパゴスの説教」		
祈禱			
賛美	453	会衆	衆衆
聖餐式			
献金			
報告		司会	衆衆
頌栄	新生 672b	会衆	衆衆
祝禱		牧師	衆衆



第二礼拝次第

メッセージ：渡真利彦文牧師

聖書：士師記 6章 (旧約聖書 p380)
メッセージ：「ギデオンの恐れ、信仰」
プレイズ：「主の教えを喜びとし」
「目を上げよ」
賛美：新生 586 新生 437



ファミリー礼拝

メッセージ：渡真利彦文牧師
聖書：コヘレトの言葉 8:8-17
メッセージ：「なお、そこで生きる」

<巻頭言>

「教会が教会らしく」

牧師 渡真利彦文

今週から来週にかけて様々なイベント・集いが開催される。一昨日には結婚10周年記念コンサート、信徒クラス。昨日(31日)には愛星幼稚園年長クラスが嘉手納探検 10キロ歩行にチャレンジ、岩淵まことオンラインライブコンサート。本日礼拝後、定例役員会、信徒クラスが行われる。11月3日には連盟年次総会がある。一つ一つの集いは神のみ手にある。

宣教とは、「イエス・キリストの福音を伝え、キリストの教会を建てあげ、神の国に生きること」である。コロナ禍でもその本質は変わらない。「いのちのことば」9月号に掲載された「教会が教会らしく！」(改革派神学校・吉田隆校長)を3点紹介したい。

1) キリストの教会は、集まるのも愛のためなら、集まらないのも愛のためである。

2) 物理的な距離は保ち、社会的な教理は縮める。私たちは、あらゆる人との“距離を縮める”ことで、「平和をつくる者」(マタイ5:9)として世に遣わされている。

3) 判断が分かれるところで皆が納得する道を探ることが賢明である。しかし、教会が立ちもし倒れもする、神のみ言葉に聴く姿勢を最終的には失ってはいけない。

多様化と孤立、格差の時代に確信を持って福音を語るか、が問われている。心身の事情で集まれない人、仕事や遠距離のため集うことが難しい人、教会難民と言われるような人、求道者や興味を持つ人などに福音を届けることを目指したいと思う。